

～～第8481回～～

道南駒ヶ岳・樽前山

～H30. 7. 17-20～

富士宮支部としては初めての遠征山行となり皆楽しみに飛行機に乗る。予定通りに成田を出発し、函館に到着。レンタカー2台で予約しておいた「パノラマリゾート八雲」へ向かう。緑いっぱいの広い大地にいろいろなサイトのあるキャンプ場で3泊4日を満喫した。

18日樽前山 駒ヶ岳登山を予定していたが天気予報が悪いため、急きょ樽前山に変更となる。東山登山口より入山。駐車場にはすでに30台位が止まっている。最初は木立の中の階段を登る。少しすると展望が開け支笏湖見晴台に到着。天気がよければ支笏湖が見えるらしいが、きょうはあいにくのガスがかかり真っ白。ここにはベンチもいくつかあって休息にはもってこいの場所である。さらに進むと森林限界となり、次第にガスも切れて雄大な景色が目の前に現れた。左手にはきれいな稜線がなだらかに広がり、活火山特有の砂礫に少しずつ緑が根付いた、富士山と似たような景色が広がる。登山道は砂礫で滑りやすいが、道幅もありすれ違いには苦労しない。数回休憩を入れながら東山分岐に到着。溶岩ドーム・噴煙をあげる火口が目の前に現れ、活火山であることを再認識する。分岐から少しだけ火口が見える西山方面に足を運び、再び分岐に戻り、山頂に向けて出発。15分も登ると山頂に着く。樽前山の本来の山頂は溶岩ドームの頂上(1014m)で東山のピークではない。危険なので東山ピークが樽前山の山頂とされている。が虫がっばいで長居は禁物、昼食の予定を変更して来た道を下山。途中の広い場所で昼食をとる。人気の山なので続々と登山者が登ってくる。ツアー登山のパーティーにも何組か出会った。花の多い山だと聞いていたが、花はこの時期タルマエソウだけだった。

天候：曇り

地図：樽前山

コースタイム：東山登山口 955…支笏湖見晴台 1015…分岐 1055…樽前山山頂 1115…途中昼食…登山口 1220

19日道南駒ヶ岳 5:00 起床、朝食を済ませ昼食用のおにぎりを作りパノラマリゾート八雲を7:10に出発。好天を祈りつつR5から道央道と車を進め、6合目駐車場に到着(途中未舗装)。駒ヶ岳は北海道森町・鹿部町・七飯町にまたがる標高1311mの活火山(成層火山)なので登山可能期間・登山可能時間等の規制・登山口にて火山情報の確認なども義務付けられている。登山道は赤井川登山道のみである。駐車場にはトイレもある。準備体操で体をほぐしてカラマツ林の中を進む。登山道は広くて歩き易い。8合目、9合目にはベンチがあり休憩する。間もなく馬の背(標高900m)に着く。山頂の計器を点検に行くという作業員からロープの外へ出なければ剣ヶ峰まで行けるという情報ももらい馬の背から剣ヶ峰をめざしたが、ガスで危険な為途中で引き返す。途中、亀裂の入った断層もいくつかあった。馬の背で昼食をとり往路に戻る。好天なら大沼よりきれい

な容姿の駒ヶ岳をみることができたのだが、今回は残念ながら見ることはできなかった。  
しかし、タルマエソウ・オオウメガサソウ・コーリンダリア・イワギキョウの花を見る  
ことができた。

参加者：9名（富士宮）

天候：曇り

地図：駒ヶ岳

コースタイム：パノラマリゾート八雲 710=R5=落部 IC=道央道=大沼公園 IC=6 合目  
駐車場 925…7 合目 950…8 合目 1005…9 合目 1035…馬の背 1105-1240…6 合目駐車場  
1340

記録：富士宮支部 石川・宮川